

## 企画セッション

### ◆ 大学の埋もれた知的財産の発掘とその戦略的活用に向けて ◆

#### 【概要】

各大学が知的財産に関して抱える課題は様々です。例えば、大学の産学連携部門による研究者への知財支援は、研究者が自発的に発明相談することを契機として開始することが一般的です。あらかじめ、学内研究を網羅的に把握して発掘し、研究の進展に併せて知財支援を行っていくことは簡単ではありません。

特許庁は、2019年度から、「知財戦略デザイナー派遣事業」を実施しています。本事業は、学内の研究支援担当・産学連携担当の方々と協働して、知財戦略デザイナーが、大学内で埋もれている知的財産を発掘し、社会的価値・経済的価値の創出に向け、未来を見据えた知財戦略（例えば、共同研究への発展や事業化などのプラン）を、研究段階からデザインしていく事業です。

2020年5月には、本事業において得られた知見（ナレッジ）を取りまとめた「知財戦略デザイナー派遣事業2019ナレッジ集」を発表しました。

「知財戦略デザイナー派遣事業2019ナレッジ集」

[https://www.jpo.go.jp/support/daigaku/document/designer\\_haken/2019-knowledge.pdf](https://www.jpo.go.jp/support/daigaku/document/designer_haken/2019-knowledge.pdf)

本セッションでは、「知財戦略デザイナー派遣事業2019ナレッジ集」をベースに、本事業産学連携活動に精通した知財戦略デザイナーや知財戦略デザイナー派遣先大学の担当者に、大学特有の実例等に基づき、発明の発掘、出口及びそこにつなげる知財戦略の策定にあたっての課題やキーポイントなどについて、語っていただきます。

#### 【パネリスト】（敬称略：五十音順）

阿部 紀里子 信州大学 学知的財産・ベンチャー支援室長／准教授

小池 充 特許庁委託事業「知財戦略デザイナー派遣事業」知財戦略デザイナー

杉浦 淳 大阪工業大学 知的財産研究科教授、研究支援・社会連携センター長

開本 亮 特許庁委託事業「知財戦略デザイナー派遣事業」知財戦略デザイナー

<モデレータ>

沖田 孝裕 特許庁企画調査課 知的財産活用企画調整官

知財戦略デザイナー派遣事業について <https://ip-designer.jp/>

## 企画セッション

### ◆ 大学の埋もれた知的財産の発掘とその戦略的活用に向けて ◆

#### 【パネリスト・モデレータ略歴】 (敬称略:五十音順)

阿部紀里子 (あべ・きりこ)

岡山大学大学院修士課程修了。特許事務所に勤務後、山梨大学、慶應義塾大学、浜松医科大学、首都大学東京(現・東京都立大学)、慶應義塾大学病院において知的財産、産学連携及び研究支援業務を担当。2016年より信州大学・講師。2019年より現職。1級知的財産管理技能士(特許専門業務)、MBA。

沖田孝裕 (おきた・たかひろ)

2002年特許庁入庁。特許庁審査官・審判官として、医療機器をはじめとした機械分野の審査・審判に従事。また、特許法等法令案の企画・立案、審査施策の企画・立案、情報システム企画、イノベーション施策の企画・立案等を担当。2020年7月より現職。

小池充 (こいけ・みつる)

富士フイルム株式会社で研究開発(1981~1987)及び知的財産(1987~2018:知財技術部長等)、富士フイルム知財情報リサーチ株式会社で経営企画(2014~2019:取締役等)に従事。特許庁委託事業「知財戦略デザイナー派遣事業」知財戦略デザイナー(2019~2020)。

杉浦淳 (すぎうら・じゅん)

1987年特許庁入庁。特許庁審査官・審判官として、土木、応用物理、アミューズメント機器等の審査・審判に従事。外務省在モロッコ日本国大使館一等書記官、(財)知的財産権研究所研究部長、特許庁審査第一部アミューズメント審査監理官、審判部第三部門審判長を経て、2015年より大阪工業大学知的財産研究科教授、2019年より大阪工業大学研究支援・社会連携センター長を兼務。

開本亮 (ひらきもと・あきら)

日立製作所(1980)、島津製作所(1981-2011)を経て、京都国際特許事務所(2011-2013:副所長)、同志社大学(2013:准教授)、神戸大学(2014-2019:教授)にて、企業・大学の知財業務に従事。現在、特許庁委託事業「知財戦略デザイナー」(2019-2020)、神戸大学知的財産アドバイザー(2019-2020)、他。弁理士登録(2006)、博士(工学)、技術士、法学修士、MBA。

以上